

清水の

豪援隊かわら版



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

レストラン 麻布

異国で、食べなれた日本料理が食べたいな—とふと思う時に行きたくなるお店が“麻布”お勧めはなんと言ってもサクサクの天ぷら！そして、新鮮な、お刺身、店内のレトロな空間とマッチしてその時だけは、まるで日本にいるような錯覚さえおこそうになります。日本食が恋しくなったら是非是非。



営業時間

火～土曜日	ランチ	12 pm - 2 pm
	ディナー	6 pm - 10 pm
日曜日	ディナー	6 pm - 10 pm
月曜日	閉店	

住所：shop18 / 165
Moggill Rd
Taringa QLD
電話：07-3371-7605

＜今月の注目記事 その1＞

Critics angry at second round of visa cost increases
(専門家は2度目のビザ費用の値上げに怒り)

Australian Financial Review 2012年10月23日付け

政府が業界との何の話し合いも持たずに、ビザ申請費用を再度値上げすることを決めたことに関して観光業界ならびに移民コンサルタント業界は怒りを表しているという記事が載っていました。

政府は5月の予算発表後、(当初から言われていたことですが)財源が不足してしまったため、向こう4年間にわたって5億2千万ドルの歳入をビザ申請費用の値上げからまかなうことを発表しました。すでに今年のはじめに5-15%の申請費用の値上げをしたばかり。これにより、中には一気に現在の申請費用の金額の4倍になってしまうビザもあるということです。現在、すでに発表されている値上げ申請費用のいくつかは下記のとおりです。

サブクラス 457 ビジネスビザ \$350 から \$455
パートナービザ(国内申請) \$3060 から \$4000
パートナービザ(国外申請) \$2060 から \$2700
卒業生スキルビザ \$315 から \$2700

これに対して観光業界、ならびに野党も強い非難の声をあげており、この値上げによりきちんとしたビザ申請を行わない違法滞在者を増やす一方だと、政府のやり方を正面から非難。それ以上に業界からは、人道的にビザの申請を必要とするパートナービザでそうした人たちの立場を利用したふざけた値上げだという声もあがっています。

支持率を落とし続ける現政権が選挙で影響を与えることのない選挙権を持たない外国人に対する仕打ちとも思われるこの申請費用の値上げに関する波紋はオーストラリア国内で予想以上に大きく広がっています。

＜今月の注目記事 その2＞

How Australian households spend over \$100K a year
(オーストラリアの家計では年間10万ドルの出費) -

News.com.au 2012年9月16日付

昨今のオーストラリアの一般家庭での年間の出費はどれくらいになるかという調査があったそうです。その結果、年間10万ドル(800万円程)が一般家庭における支出の平均であり。共働きの夫婦のいる家庭では1週間に2000ドルの出費があるのも珍しくないというのがCommSec社のアナリストの調査結果だそうです。

一般家庭の支出の中で大きく占めるものはホームローン、または家賃、食費や外食費用ということです。調査結果平均週\$379.89のホームローンまたは家賃、次に食費が\$307.46、保険やその他で\$168.64だそうです。一般家庭の収入の83%がこれらの支出となって消えていってしまうということです。

調査結果、2006年度と比べると電気代、水道代やガス代は60%以上の値上げをしており、CPIの動向の3倍以上の値上げになっているということです。

オーストラリアの物価が高くなったとよく言われるようになりました。確かに昔と比べると日本よりオーストラリアの方が物価があがったと思われます。それも、健全なインフレが続いていたためとも言え、オーストラリアが今まで好景気を保ってきたそのツケということかもしれません。



<今月の注目記事 その3>

Sydney world's 2nd most expensive city
(世界で2番目に高い都市-シドニー)
[News.com.au](http://news.com.au) 2012年10月14日付

PricewaterhouseCoopers 会計士事務所の行った調査によれば、シドニーが東京に次いで2番目に高い都市であるということだそうです。

そのレポートはこちらのリンクからダウンロード可能です。<http://www.pwc.com/us/en/cities-of-opportunity/2012/explore-the-data.jhtml>

<今月の視点>

メルボルンカップ

もう、今年も11月ですね。早いもので、今年ももう終わりです。

11月の上旬にあるオーストラリアの国民行事といえば、メルボルンカップです。メルボルンカップという競馬の国際大会なのですが、ビクトリア州においてはその日が祝日になるくらいにオーストラリア人にとっては重要な日です。競馬イコール賭け事に対して国全体が一生懸命になるというのは、日本人の感覚からすると少し不思議な感じがしますが、こちらでは重要な社交イベントです。今年はチャールズ皇太子夫妻も訪れていました。その日はほとんどのオフィスで開店休業状態でした。たまっていた仕事を片付けるのにはちょうど良かったのですが。

メルボルンカップと同じ日にオーストラリア中央銀行が公定歩合の利下げを見送る決定をしたことも話題になりました。大方の予想は利下げをするであろうということでしたが、予想以上にインフレ率が維持されたこと、そしてヨーロッパ市場の不安定な動きを考慮して、もう少し様子を見ることとなったようです。

(右上に続く→)

オーストラリア経済全体としては消費は冷え込んでいるというのは間違いなようで、特に小売業界は大変な状況が続いているようです。インフレと言ってもコストプッシュのインフレだけに、消費者の財布の紐がどんどんかたくなっているのが現状です。ある専門家は向こう2年はこの状態が続くという話をしていました。確かに、オーストラリアの経済に影響する中国とアメリカの様子を見ていると、少し時間がかりそうだという気がします。

オバマ大統領も再選ということで、ある意味ほっとしたというのがオーストラリアの正直な気持ちではなかったかという気がします。今は、この現状を打破するには、変化が必要だと思のですが、大半は変化よりも安定を求められているようですね。

<今月のジョーク！ パート1>

「うちの奥さんは天使だね」

「うらやましい。おれのはまだ生きてる」

(ジョーク集より)

<今月のジョーク！ パート2>

家を空けることの多い私は、田舎のおふくろに

「FAX送って」

と言ったら、2・3日してダンボールに包まれた「本体」が送られてきた。

(ジョーク集より)

<今月のジョーク！ パート3>

いや～かみさんがネ、ダイエットのために乗馬をはじめるといいだしてね」

「へえー、どれぐらいやせたんです？」

「二週間で10キロもやせたよ」

「へえー、そいつはすごい！！」

「馬がね……」

(ジョーク集より)

<今月の名言>

【ヘレン・ケラー(教育家)】

「この世で一番哀れな人は、目は見えていても未来への夢が見えていない人だ」

【デーブル・カーネギー(思想家)】

「動かないことが疑いと恐怖を生みだす 行動は自信と勇気を生みだす」



このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！
ALC ビザコンサルタント

QLD 州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227
シドニー事務所 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

E mail: info@alcvisa.com Website: www.alcvisa.com

東京事務所 (担当: 生田・松本)

〒170-0013
東京都豊島区東池袋
4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003

Fax: +81-3-3985-6009